

登録No.
登録名
催吐性リスク
適応疾患
投与スケジュール

S-116
Pembrolizumab/Weekly PAC/Weekly CBDCA療法
中等度
乳癌

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ペムブロリズマブ 生食	①200mg/body ②400mg/body 100mL/body		d1	d.i.v.	30min	0.2~5 μ mのインライン フィルター使用
Rp.2	生食	50mL/body		d1	d.i.v.	全開	ペムブロリズマブフラッシュ用
Rp.3	グラニセトロン3mg ファモチジン デキサメタゾン リン酸カルフェラミン	100mL/body 20mg/body 9.9mg/body 5mg/body		d1・d8・d15	d.i.v.	30min	
Rp.4	パクリタキセル 生食	80mg/m ² 250mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	60min	粘調度高いため、輸液総量の 1.5倍量をDrip-eyeに設定
Rp.5	生食	100mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	全開	パクリタキセル、カルボプラチン 前後フラッシュ用
Rp.6	カルボプラチン 生食	AUC 1.5 250mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	60min	

1クルールの期間
その他
(副作用・PS規定等)

ペムブロリズマブ：①3週間、②6週間、PAC/CBDCA：3週間

注意： Triple Negative乳癌に使用
パクリタキセル初回投与時、心電図モニター
インラインフィルター（0.2 μ m）付きルート使用
ペムブロリズマブは最終濃度を1~10mg/mLに調製

臨床試験（KEYNOTE-522試験）

患者選択基準 画像診断又は臨床診断によりTNM分類でT1cかつN1~2、又はT2~4かつN0~2に該当する遠隔転移を有しない患者
PS:0~1、Neutr \geq 1500/ μ L、Hb \geq 9.0g/dL、Plt \geq 10万/ μ L、Alb \geq 3.0g/dL
T-Bil \leq 1.5 \times ULN(T-Bil $>$ 1.5 \times ULNの場合はD-Bil \leq ULN)、AST/ALT \leq 2.5 \times ULN、LDH $<$ 2.5 \times ULN

Scr \leq 1.5 \times ULN又はCcr \geq 50mL/min、LVEF \geq 50%又はLLN

抗凝固療法を受けていない場合：INR、PT、aPTT/PTT \leq 1.5 \times ULN

抗凝固療法を受けている場合：PT又はaPTT/PTTが治療域の範囲内

副作用： 骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、下痢・便秘、末梢神経障害、聴力障害、脱毛、倦怠感、筋肉・関節痛、心毒性など。
間質性肺炎、大腸炎、小腸炎、神経障害（ギラン・バレー症候群等）、劇症肝炎、肝不全
肝炎、硬化性胆管炎、内分泌障害、1型糖尿病、腎機能障害、膵炎、筋炎、横紋筋融解症
重症筋無力症、脳炎、髄膜炎、血球貪食症候群、結核、infusion reaction、ぶどう膜炎など